



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和6年8月5日
商工労働部
ものづくり推進課
立地創業支援室

市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡市×岩手大学 提携講義の開設について

岩手大学が今年度から開設したイーハトーヴ協創コース（※）の科目として、盛岡市との提携による新しい講義を開講します。

本講義では、盛岡市の魅力や社会課題について認識する機会を創出するとともに、社会課題解決等に取り組む地場企業やスタートアップ企業の活動内容と、その活動に対する盛岡市の支援等について学ぶことにより、地域人材の育成や地域課題解決、起業・スタートアップの促進を図り、持続可能な地域社会を形成することを目指します。

初日には市長による講話を行うほか、盛岡市の取組紹介や市内企業の講話、まちあるきや企業・施設見学などのフィールドワークも実施しますので、是非ご取材ください。

記

- 【日時】令和6年8月20日（火）から23日（金）まで
- 【場所】岩手大学学生センターA棟2階 G2大講義室 及び 盛岡市内
- 【講義名】社会連携学B ～輝く『モリーオ人（びと）育成講座』～
- 【内容】別添「実施要領」及び「シラバス」のとおり
- 【受講者】岩手大学の1、2年生 40名
- 【主催】岩手大学
- 【共催】盛岡市
- 【留意事項】

当日取材を希望される場合は、事前に岩手大学担当までご連絡をお願いします。

また、イーハトーヴ協創コース及び提携講義の内容全般に関するお問合せにつきましても、同担当へのご連絡をお願いします。

なお、8月9日（金）～16日（金）の期間は岩手大学の一斉休業期間となりますのでご留意ください。

《担当》

岩手大学学務部学務課地域協創教育室 室長 石沢 友紀

電話：019-621-6628

メール：rcec@iwate-u.ac.jp

※イーハトーヴ協創コースについて

岩手大学の学生が受講可能な共修プログラム。地域社会の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、正課教育と地域社会を实践の場とした正課外活動との循環・接続を図る教育（地域協創教育）を实践することにより、高い専門性と実践力を併せ持ち、社会の様々な視点から直面する課題を理解し、解決に向けて自律的に判断・行動ができる能力を持った人材を育成・輩出を目指すものです。

【問い合わせ】

ものづくり推進課 立地創業支援室

担当：鷹觜（たかの）はし

電話：019-621-6682（岩手大学直通）

盛岡市×岩手大学提携講義 実施要領

1 目 的

岩手大学では、令和5年9月に地域協創教育センターを開設し、学生と地域との協働を恒常的に促進するイノベーション・commons（共創拠点）の実現に向けた地域協創教育機能の強化に資する取組を進めており、その取組の1つとして、アントレプレナー人材育成及びソーシャルイノベーション人材育成に資する全学対象プログラム「イーハトーヴ協創コース」を展開することとしている。

イーハトーヴ協創コースでは、地域社会との協創により高い専門性と実践力を備えた「二刀流人材」を育成することを目指し、令和7年度から本格的にカリキュラムを始動することとしているが、それに先立ち、令和6年度においては、岩手大学が立地する盛岡市との提携講義を実施する。

岩手大学の学生のうち、約6割が県外出身者で盛岡市や岩手県に関する知見に乏しく、また、新入生のキャリア志向として、起業・スタートアップに対する関心は低い。

本講義を通じて、学生が盛岡市の魅力や社会課題について認識する機会を創出するとともに、社会課題解決等に取り組む地元中小企業・スタートアップ企業の活動内容や、その活動に対する盛岡市の支援等について学ぶことにより、地域人材の育成や地域課題解決、起業・スタートアップの促進を図り、持続可能な地域社会を形成することを目的とする。

2 講座内容

(1) 狙 い

岩手大学に在籍する約5,000人の学生うち市内在住者を概ね3,000人とする、盛岡市民の約100人に1人は岩手大学生であると推定され、盛岡市にとって極めて重要な存在であるといえる。

岩手大学と協働で開催する本講座では、その岩手大学生に対し、盛岡市の魅力や取組を学び、活躍する企業や人材など地域社会とのつながりを深める機会を提供することにより、学生の地域への愛着やリーダーシップを醸成し、未来の盛岡市を支え、輝く人材『モリーオ人^{びと}』の育成を目指す。

(2) 講座名

社会連携学B ～輝く『モリーオ人^{びと}』育成講座～

(3) 日 程

令和6年8月20日（火）～23日（金）

(4) 会 場

岩手大学学生センターA棟 2階 G2大講義室

【参考：岩手大学キャンパスマップ URL】

<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/facility/map.html>

(5) 受講者

ア 学年：1、2年生

イ 人数：40名

(6) シラバス

別紙のとおり

社会連携学B～輝くモリーオ人育成講座～ シラバス

	8/20（火）【1日目】	8/21（水）【2日目】	8/22（木）【3日目】	8/23（金）【4日目】
テーマ	盛岡を知ろう！	盛岡の産業を学ぼう！	自分の目で確かめよう！	盛岡で活躍しよう！
10:00	①			
11:00		⑤	⑨	⑫
12:00	昼休憩	昼休憩	⑩『昼食交流会』	昼休憩
13:00	②	⑥	⑪	⑬
14:00				
15:00	③	⑦		
16:00				
17:00	④	⑧		

①	授業概要説明 市長講話 学生との意見交換 《GW》「盛岡ってどんなイメージ？」	岩手大学地域協創教育センター 副センター長 今井 潤 盛岡市長 内館 茂 ファシリテーター：岩手大学地域協創教育センター 副センター長 今井 潤、特任教授 平尾 清 講評：盛岡市長 内館 茂
②	盛岡市の地域課題 ～人口統計と総合計画から～ 盛岡ブランドとシティプロモーション	盛岡市市長公室企画調整課 副主幹兼計画経営係長 佐藤 雄一 盛岡市市長公室企画調整課 主幹兼都市戦略室長 平山 久枝
③	盛岡の農業 もりおかの「食と農」～美食王国もりおかの取組～	盛岡市農林部農政課 農政企画係長 阿部 昌彰 盛岡市農林部農政課 食と農の連携推進室 主任 小澤 諒
④	盛岡市で起こりうる災害について 盛岡の観光～歩いて楽しむまち盛岡～	盛岡市総務部危機管理防災課 危機防災係 主事 渡邊 実幸 (補助者：危機防災係長 木村 嘉孝) 盛岡市交流推進部観光課 観光企画係 主事 松戸 紀佳
⑤	経済統計分析から見た盛岡市の産業振興の可能性について ～商業・サービス業を中心に～ より強い産業構築に向けたビジョン（盛岡市工業振興ビジョンの概要） ～世界に通じる魅力ある産業集積を目指して～	盛岡市商工労働部経済企画課 課長補佐 佐藤 俊治 盛岡市商工労働部ものづくり推進課 副主幹兼工業振興係長 上森 貞行
⑥	産学官連携と大学発ベンチャー 大学発ベンチャー講話 『岩大発ベンチャー アイカムス・ラボの成り立ちと今』	岩手大学地域協創教育センター 副センター長 今井 潤 株式会社アイカムス・ラボ 代表取締役社長 小川 裕二
⑦	企業講話Ⅰ【中小企業・誘致企業】 『伝統と現代に生きる南部鉄器』 『盛岡から世界へ、地理空間データ×テクノロジーが拓く新しい社会』	株式会社岩鑄【中小企業】 営業部 部長 高橋 潔充 伝統工芸士 三代目清茂 八重樫 亮 ジオテクノロジー株式会社【誘致企業】 執行役員 マップディベロップメント統括 佐々木 秀孝
⑧	企業講話Ⅱ【スタートアップ企業】 『異彩を、放て。』	株式会社ヘラルボニー 代表取締役 Co-CEO 松田 文登
⑨	盛岡まちあるき ※岩手大学集合、バスにて市街地へ移動	・トラベル・リンク株式会社：3 コース ・株式会社COCOHALETTE：1 コース ・盛岡市都市整備部市街地整備課：1 コース ※小雨決行、荒天の場合は市街地整備課担当コースに集約
⑩	昼食交流会 会場：プラザおでって 3階 大会議室（中ノ橋通一丁目1番10号）	岩手大学地域協創教育センター 副センター長 今井 潤 ※市・企業の講演対応者にも参加を案内 ※食農室経由で盛岡市産食材を使用した昼食を手配
⑪	企業・施設見学	1. ヘラルボニーギャラリー 2. 岩鑄鉄器館 3. HIH 4. 岩手県工業技術センター 5. 盛岡市産学官連携研究センター
⑫	《GW》「より優しく、より強い盛岡にするためには」	ファシリテーター：岩手大学地域協創教育センター 副センター長 今井 潤、特任教授 平尾 清
⑬	発表・まとめ	ファシリテーター：岩手大学地域協創教育センター 副センター長 今井 潤、特任教授 平尾 清 講評：盛岡市商工労働部長 高橋 博文